本 会 会 報

学会だより

◇ 平成 29 年度第 1 回運営委員会要旨

日時:2017年3月4日(土)14:00~17:30

場所:東京大学農学部フードサイエンス棟1階 102講

義室

出席:堤, 奥本, 大澤, 伊藤, 最相, 宍戸, 山本, 佐藤, 築山, 有村, 齊藤, 石本, 吉田, 草場, 甲斐, 富田, 犬飼, 北柴【出席18名】

欠席:石川【出席1名】

各運営委員からの活動経過報告の後,以下の事項について審議された.

- ① BS 科研費の今後の監査体制について
- ②次年度予算案について
- ③企画編集委員 (Review Editor) の設置について
- ④編集委員の推薦について
- ⑤ 2018 年春季大会の開催日程, 2019 年春季大会の開催 地について
- ⑥口頭発表数を増やすための対応について
- ⑦保育施設利用料の無償化について
- ⑧石原(志方) 守一賞について
- ⑨シニア会費制度の実施について
- ⑩学会事業監査報告について
- ⑪代議員会の議題について
- ⑩「ゲノム編集に関する3学会からの声明文」について

◇ 第 3 回代議員会議事録

日時:2017年3月28日(火)15:00~18:40

場所:名古屋大学全学教育棟 C14(名古屋大学東山キャンパス)

出席者(理事·運営委員·監事):堤伸浩, 奧本裕, 最相大輔, 奧本裕, 有村慎一, 宍戸恵理子, 石本政男, 吉田均, 犬飼剛, 佐藤豊, 加藤鎌司【11名】

出席者(代議員):久保友彦,高畑義人,石川隆二,北柴大泰,西尾剛,岡崎桂一,山本敏央,半田裕一,田中剛,久保山勉,田中淳一,木庭卓人,佐々英徳,平野博之,伊藤純一,桧原健一郎,吉田薫,金勝一樹,村井耕二,富田因則,小林麻子,掛田克行,石井尊生,築山拓司,齊藤大樹,草場信,前川雅彦,穴井豊昭,安井秀,田浦悟【30名】

欠席者(代議員): 貴島祐治, 佐藤裕, 三浦秀穂, 大澤良, 松本隆, 中村郁郎, 土井一行, 清水顕史, 辻本壽, 甲斐浩臣【10名】

議決権行使: 貴島祐治, 佐藤裕, 三浦秀穂, 松本隆, 土井一行, 村井耕二, 甲斐浩臣【7名】

議長:代表理事(堤会長)

議事録:運営委員(庶務担当 総務第二)

出席者数は代議員会の定足数(21)を満たしていた.

1. 報告事項

(ア) 運営委員会報告(各運営委員)

会員数の推移・学会誌発行部数, HP 更新, メール配信数, 契約他【総務】

BS,シンポジウム科研費【科研費】

H29 年度日本農学会・読売農学賞受賞,農学会シンポジウム,日本農学会一般社団法人化について等【農学会】 各地域の活動報告【各地域幹事】

会計報告【会計】

編集状況【編集英文誌,編集和文誌】

大会開催予定,次大会開催予定,ロ頭発表の奨励について【集会】

- (イ) 平成28年度事業報告(代表理事)
- (ウ) 平成 28 年度事業・会計監査結果の報告(監事:加藤鎌司)

2. 審議事項

(ア) 特別決議議案 第1号議案 定款の変更について (総務)

冒頭、定款・運営内規 WG(安井)より、特別決議議案(定款の変更)の内容について紹介があった. その後. 以下の事項について投票が行われた.

事項1(除名)

(変更前): 第11条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、第20条第2項に定める代議員会の特別決議により当該会員を除名することができる.

(変更後): 第11条 会員が次のいずれかに該当する に至ったときは、第19条2項に定める代議員会の特別 決議により当該会員を除名することができる.

事項2(議事録)

(変更前):第21条 代議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する.

2 議長及び出席者の中から議長が指名した議事録署 名人2名は、前項の議事録に署名押印若しくは記名押印 する。

(変更後):第21条 代議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する.

2 代表理事は,前項の議事録に署名押印若しくは記名押印する.前項の議事録が電磁的記録をもって作成されているときは,代表理事は,当該電磁的記録に電子署名する.

投票の結果,何れの事項についても変更が承認された.

本会会報 99

(イ) 第14回 (平成28年度) 論文賞の選考 (総務)

学会賞等選考委員長(奥本理事)より第14回(平成28年度)論文賞に推薦された以下の3報の論文が紹介された.

論文 1: Characterization of a mini core collection of Japanese wheat varieties using single-nucleotide polymorphisms generated by genotyping-by-sequencing. BS66(2): 213–225 Fuminori Kobayashi, Tsuyoshi Tanaka, Hiroyuki Kanamori, Jianzhong Wu, Yuichi Katayose, Hirokazu Handa

論文 2: Genomic dissection of a 'Fuji' apple cultivar: resequencing, SNP marker development, definition of haplotypes, and QTL detection. BS66(4): 499–515

Miyuki Kunihisa, Shigeki Moriya, Kazuyuki Abe, Kazuma Okada, Takashi Haji, Takeshi Hayashi, Yoshihiro Kawahara, Ryutaro Itoh, Takeshi Itoh, Yuichi Katayose, Hiroyuki Kanamori, Toshimi Matsumoto, Satomi Mori, Harumi Sasaki, Takashi Matsumoto, Chikako Nishitani, Shingo Terakami, Toshiya Yamamoto

論文 3: Parental diagnosis of satsuma mandarin (*Citrus unshiu* Marc.) revealed by nuclear and cytoplasmic markers. BS66(5): 683–691

Hiroshi Fujii, Satoshi Ohta, Keisuke Nonaka, Yuichi Katayose, Toshimi Matsumoto, Tomoko Endo, Terutaka Yoshioka, Mitsuo Omura, Takehiko Shimada

投票の結果,出席者の3分の2以上の可票を得,全て が論文賞として承認された.

(ウ) 平成 29 年度学会賞等選考委員(6 名)の先出(総務)

代議員による投票(互選・6名連記)の結果,以下の6名が選出された.

大澤良, 西尾剛, 草場信, 貴島祐治, 村井耕二, 辻本壽 (エ) BS 企画編集委員・編集委員の推薦について(編集)

審議の結果, 1. 企画編集委員(2名:佐々木卓治, 西尾剛) および編集委員(3名: Hei Leung, Suk-Ha Lee, Manabu Ishitani), 2. 統計遺伝学分野(1名:石井卓朗), 3. 特集号の選任編集委員(2名:山田敏彦, Hongwei Cai)】が承認された.

(オ) 運営内規の改訂について (シニア会費制度) (総務)

審議の結果,以下の運営内規の変更が承認された. (改訂前)

1) 会費(年額) は、普通会員10,000円、団体会員16,000円、学生会員6,500円とする。ただし、外国に在住する普通会員からは6,500円(BSのみ)、8,000円(BSと育種学研究)を徴収する。

(改訂後)

1) 会費(年額) は、普通会員 10,000円(シニア会費 6,500円)、団体会員 16,000円、学生会員 6,500円とす る. ただし、外国に在住する普通会員からは 6,500円 (BSのみ), 8,000円(BSと育種学研究)を徴収する. シニア会費制度を利用する普通会員は適用の年度までに 役員の承認を受ける.

開始年度については 2017 年 11 月とすることで承認された.

(カ) 石原(志方) 守一奨学金制度について(総務) 審議の結果,以下のような実施形態で実施することが 承認された.

賞名 石原(志方) 守一 奨学金

対象 学生会員

選考対象 前大会

対象者 優秀発表賞受賞者

件数 原則2件

賞金額 ¥40,000/件

選考 学会賞等選考委員会

表彰 無し

(キ) ゲノム編集に関する声明について(運営委員会)

審議の結果,学会名での声明発表は原則承認された が,声明文の文言については引き続き運営委員会で検討 することとなった.

(ク) 平成29年度予算(案)の検討

審議の結果, 提案内容が承認された.

(ケ) 財政状況の改善について

編集(英文誌)の担当幹事から以下の案についての説明があった.

- 1. (超過ページの) 実費請求
- 2. 受益者負担型の価格設定
- 3. 英文誌のオンライン化
- 4. PMC 掲載の取り止め
- 5. 和文誌への BS 和文摘要掲載の取り止め 編集(和文誌)の担当幹事から以下の案についての説 明があった.
- 1. 発行数の変更 (年4回⇒年2回)
- 2. 和文摘要の廃止
- 3. 論文掲載料無料化は維持

代表理事より中西印刷との運営健全化(案)の折衝に 基づいて幾つかの改善案が提案された旨の説明があった。審議の結果、次会の臨時代議員会までに財政健全化 案を策定することとなった。改善案については引き続き 継続審議となった。

(コ) その他

H29 年度の和文誌編集事務局を岡山大学に依頼していることが報告された.

3. その他

(ア) 関連報告

シンポジウム委員会,男女共同参画推進委員会,記者発表,JABEE 公益財団法人農学会技術者教育推進委員会より,関連活動の報告があった.

100 本会会報

(イ) その他

伊藤・運営委員(庶務担当)より,講演会の優秀発表 賞の投票について説明があった.

◇ 日本育種学会第 131 回講演会選定課題記者 発表報告

発表日時:平成29年3月22日(水)15:00~16:15

発表場所:東京大学弥生講堂アネックス・エンゼル研究 棟講義室

出席者:大澤良,有村慎一

参加機関:日経 BP,日本農業新聞,化学工業日報,東京新聞中日新聞,時事通信社,科学新聞社

発表タイトル:

- (1) 低カロリー機能性米の実用化に向けて
- (2) ゲノム編集技術を利用したトマトの分子育種の実例
- (3) バイオリファイナリーに最適化したソルガム育種
- (4) 世界に先駆けて葉緑体全ゲノムを解読し、わさびの 起源と伝播の謎に迫る

講演タイトル:

(1) 318「高バイオマス・高糖収量性を併せ持つバイオ リファイナリーに最適化したソルガム新品種「炎龍」の 育成」

佐塚隆志 1, 藤井昭裕 1, 中村 (荒木) 聡子 1, 和田多門 2, 山口未来 2, 岡村進之介 2, 篠原(大前)梢 1, 伊藤祐介 1, 松岡信 1, 北野英己 1, 春日重光 3 (1. 名大・生物機能 センター, 2. 名大・院生命農学, 3. 信大・学術研究院 農学系)

(2) 205「CRISPR/Cas9 を利用した GABA 高蓄積トマトの分子育種技術の開発」

野中聡子 1.2, 新井智香子 3, 高山真理子 1, 松倉千昭 1.2, 江面浩 1.2 (1. 筑波大・生命環境系, 2. 筑波大学遺伝 子実験センター, 3. 筑波大学大学院生命環境科学研究 科)

(3) P039「葉緑体全ゲノム比較によるワサビの進化系譜の構築」

道木菜那¹, 高野知之², 小林恵子¹, 小林正明², 矢野健太郎², 山根京子¹ (1. 岐大•応生, 2. 明大•農)

(4) 105「低カロリー機能性米の実用化に向けた試み I 単回接種ヒト試験」

藤田直子¹, 齊藤雄飛², 高原美香¹, 保坂優子¹, クロフツ尚子¹, 渡辺紀之²(1. 秋田県立大学生物資源科学部, 2. 亀田製菓(株) お米研究所)

107「難消化性デンプンを含む低カロリー米品種の開発」 川本朋彦 1, 柴田智 1, 加藤和直 1, 髙橋竜一 1, クロフ ツ尚子 2, 三浦聡子 2, 阿部美里 2, 追留那緒子 2, 藤田 直子 2 (1. 秋田県農業試験場, 2. 秋田県立大学)

◇ 第 131 回講演会日本育種学会優秀発表賞報告

2017年日本育種学会春季大会(第131回講演会)に

おける日本育種学会優秀発表賞が下記の 11 課題に決定された.

講演番号 420: CRISPR/Cpfl を用いたイネの多重遺伝子破壊

☆三上雅史 ^{1,2}, 遠藤亮 ², 賀屋秀隆 ², 遠藤真咲 ², 土岐精一 ^{1,2,3}(1. 横浜市大院・生命ナノ, 2. 農研機構・生物機能利用部門, 3. 横浜市大・木原生研)

講演番号 P088: フィールドトランスクリプトミクス情報に基づく選抜によって得られたイネのリン酸過剰蓄積変異体の解析

☆竹久妃奈子, 佐藤豊 (農研機構・次世代作物開発研究 センター)

講演番号 421: ゲノム情報がない高次倍数性の栄養繁殖性植物でゲノム編集を行うための外来遺伝子を用いた技術開発

☆加星光子, 間竜太郎, 佐々木克友 (農研機構・野菜花き)

講演番号 502: ダイズの莢形成におけるフロリゲン遺伝子—FT2a および FT5a—の役割

☆竹島亮馬1,針谷康平1,朱江慧1,孔凡江2,山田哲也1,阿部純1(1.北大•院農,2.中国科学院)

講演番号 319: イネの穂形質に関する GWA 解析

☆小竹久仁彦¹, 矢野憲司², 平野恒¹, 北野英己¹, 松 岡信¹(1. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター, 2. 東京大学大学院農学生命科学研究科)

講演番号 417: 葉緑体内で自律複製する新たな形質転換ベクターの開発

☆植村香織, 児島和志, 寺地徹(京産大・総合生命科学)

講演番号 P053: イネ高温登熟耐性遺伝子 Apq1 の遺伝解析

☆竹原佳那1,村田和優2,山口琢也2,蛯谷武志2,荻原均3,岩崎行玄1,三浦孝太郎1(1.福井県立大・生物資源,2.富山農林水産総合技術センター,3.次世代作物開発研究センター)

講演番号 P068: CRISPR/Cpfl を用いた作物のゲノム編 集技術の開発

☆遠藤亮 1, 三上雅史 1.2, 土岐精一 1.2.3 (1. 農研機構・生物機能利用研究部門, 2. 横浜市立大・生命ナノシステム, 3. 横浜市立大・木原生物学研究所)

講演番号 P140:トウモロコシ胚の極性に異常を示す変 異体 *small embryo3* (*sem3*) の解析

☆三村真生¹, 工藤徹², Wu Shan³, McCarty Donald R.³, 鈴木雅晴³ (1. 国立遺伝学研究所・実験圃場, 2. 明治 大学農学部, 3. フロリダ大学)

講演番号 215: デンプン枝付け酵素 I 欠損変異を含む 2 種類のアミロペクチン変異を集積した水稲モチ系統の特 性

☆川又快,深沢芳隆,樋口章子,岡本和之(茨城県農業 総合センター生物工学研究所) 本会会報 101

講演番号503: アスパラガスの雄性特異的遺伝子 AoMYB35 の性決定への関わりについて

☆津釜大侑,松山光平,井出真結,藤野介延,増田清 (北大・院農)

日本育種学会会員異動(2017.1.21~2017.4.20)

◇普通会員入会: 粕谷雅志, 北崎一義, 木下雅文, 林和希(北海道), 西原昌宏(岩手), Crofts Andrew James, 加藤和直(秋田), 渡辺洋一(福島), Tamir Habtamu Ayalew, 今泉(安楽)温子, 梅原洋佐, 加星光子, 黒川俊二, 西中未央, 野中聡子, 平尾知士(茨城), 井川智子, 長崎英樹(千葉), 本田康平(東京), 戸田絵梨香, 長谷川久和(神奈川), 重山博信(新潟), 関功介, 芹澤啓明(長野), 鈴木俊哉, 高橋(野坂)美鈴(静岡), 濱頭葵, 平野恒, 川邊隆大(愛知)

◇学生会員入会: 岡野なつみ, 髙橋光彦, 野口真希(北海道), 赤石和也(茨城), 永島有里子, 山口明依, 久保田一輝(栃木), 齋藤直美, 茅野史香, 宮﨑香穂, 大吉浩平(千葉), 紀平望帆, 黒岩祐太, 鈴木鱗太郎, 高

橋潤平,名倉美咲,Permana Hadian,松本莉奈,関根茜(東京),出澤侑也(神奈川),佐藤真帆,谷本涼,安藤貴子(新潟),近藤沙紀(富山),金成拓馬(福井),三宅真佑子,楠和隆(長野),中野友貴,Phung Huan(岐阜),Nthia Peter,植家優紀,河合翼,國枝真依,小竹久仁彦,近藤拓也,塩川貫太,鈴木実,長谷川友美,Lucob Nonawin,山田創(愛知),太田星史(京都),澤田裕貴,島田沙織,寺田凪沙,Mohamed Mazin(兵庫),トゥンサン・ピエ(鳥取),笹井瑠美,佐藤日向子,有賀悠貴(岡山),井上勝太(広島),福岡千洋,宮地伯明(佐賀),吉村和人(熊本),植村真郷(宮崎),保木良太(鹿児島)

◇ **賛助会員入会**:住化農業資材株式会社(大阪)

◇外国会員入会:高 亨植(大韓民国)

住所変更等

◇普通会員:谷口郁也,吉永優(茨城),鈴木保宏(埼玉),高山誠司,保木健宏(東京),大森伸之介(新潟),三村真生(静岡),瀬上修平(大阪),小松邦彦(香川)